

青い波北陽台

自分で考え、判断し、行動する力

校長 山口 千樹

私は、生徒の皆さんに「自分で考え、判断し、行動する力」を、卒業までに身につけてほしいと考えています。そう考える理由は2つあります。

最初の理由は、これからの社会は「変化」が激しく予測不能であり、そのような中で皆さんがより良く生きていくためには、標題の力が必要だと考えるからです。「変化」には、大きく3つあると思います。

1つ目は、地球環境の変化です。言うまでもなく温暖化の影響は、台風の大型化やゲリラ豪雨（短時間に局所的に降る豪雨）の多発などの自然災害として顕在化しています。また、農業・漁業の生産量減少、感染症の流行多発なども、皆さんの暮らしに大きく影響するでしょう。2つ目は、世界経済の変化です。1990年のソビエト連邦の崩壊により、いわゆる「冷戦」が終結し、世界経済のグローバル化は年々強まっています。しかし、ここ数年、価値観を共有する国々でグループを作り、グローバル化を再編成しようとする動きがあります。自由な貿易の中で成長してきた我が国の立ち位置も微妙になりつつあり、経済活動を行うあらゆる事業が影響を受けると考えられます。3つ目は、社会構造の変化です。我が国においては、人口減少社会の到来を背景に、地方と大都市の格差が問題になってきます。人工知能の活用や情報化の進展による、働き方や産業構造の変化も予想がつきません。

このような変化が激しい時代では、問題解決のためのマニュアルや手続きがなかったり、あっても時代遅れで役に立たなかったりすることが多いでしょう。結局のところ、自分で考えて創り出すしかないのです。

次の理由は、皆さんが18歳（高校3年生は19歳）で、成人としての「責任」を負うことになるからです。特に、私が心配しているのは「契約」です。インターネット等で軽々しく契約のボタンを押してしまうと、簡単に解約することはできません。成人としての契約は、履行する責任が生じるからです。ここでも、自分で考え、判断する力が必要です。

以上の2つの理由から、皆さんは「集めることができる客観的な情報を、正しい手法で分析し、多方面から考察して、最適な判断をし、迅速に行動する力」を、卒業時までに身につける必要があると考えています。そのために、学校生活のすべての場面で、「自分で考え、判断し、行動する力」を意識することを、皆さんに強く求めたいと思います。

経営方針

1 校訓

- 二綱 自学・創造
- 三領 やさしく・きびしく・たくましく

2 教育方針

予測困難な未来を生きる主体として、学んだ知識や技能をもとに考え、判断し行動できる資質・能力を身につけ、長崎県をはじめ世界の持続可能な発展に寄与できる、「知・徳・体」のバランスの取れた人材を育成する。

3 教育目標（卒業時に生徒が身につけておくべき資質・能力）

- (1) 社会の担い手として求められる、基本的な知識や技能・体力
- (2) 自分や社会の課題を見出し解決するための思考力や判断力
- (3) 自分の資質・能力を認識し、生涯にわたって学び続ける意欲や人間性等
- (4) 他者を承認し協働してよりよい世界を創造するためのコミュニケーション能力や表現力
- (5) 主権者としての責任を自覚した行動ができ、異なる文化や他者の権利を尊重する態度
- (6) 郷土や日本の伝統・文化を理解し、世界の平和と持続可能な発展を求める姿勢

4 努力目標

- (1) 知力を伸ばす
- (2) 徳を養う
- (3) 体力を伸ばす



この4月に、新しく本校に着任された先生方の紹介

| 氏名 | 教科等 | 前任校等 |
|-------|--------------|-----------|
| 山口千樹 | 校長・理科(生物)・情報 | 長崎県教育センター |
| 濱栗啓吾 | 教頭・英語 | 壱岐高等学校 |
| 小嶺裕正 | 地歴・公民(世界史) | 長崎東高等学校 |
| 濱野孝昭 | 数学 | 川棚高等学校 |
| 安居院公隆 | 情報 | 五島海陽高等学校 |
| 渡辺自子 | 公民 | 五島南高等学校 |
| 河淵恵 | 国語 | 上五島高等学校 |
| 山口真優 | 国語 | 新規採用 |
| 大見泰輝 | 数学 | 新規採用 |
| 阪口令 | 英語 | 長崎南高等学校 |
| 斉藤洋文 | 主任主事 | 対馬高等学校 |

山口千樹校長をはじめ、11名の方が本校に着任されました。昨年度から在籍する職員も合わせて、これからよろしくお願ひします。



令和3年度入学式 ～43回生276名入学～



4月8日(木)本校第43回生の入学式が行われました。今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染対策のため、新入生、教職員、保護者だけの参加とし、短縮した形で行われました。新入生を代表して、松本 新君が宣誓を行いました。

これから3年間、長崎北陽台生として、学習や部活動、学校行事などに一所懸命に取り組み、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。



歓迎遠足・歓迎式 ～晴天の中実施～

4月14日(水)歓迎遠足・歓迎式が実施されました。今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、校内で1年生や新転任の先生方の歓迎会を行いました。吹奏楽部や生徒会による歓迎行事のあと、1・2年生は長与町民グラウンドへ、3年生は中尾城公園へ遠足に行きました。そこでは、クラスの友達との昼食やレクリエーションの時間を楽しみました。その後、学校に戻ってからは、部活動編成を行いました。



校内理数科課題研究発表会～1年間の研究の成果発表！～

4月20日(火)理数科3年生(理数科17回生)による校内理数科課題研究発表会が本校体育館で行われました。各発表班はパワーポイントを用いて、日ごろの研究成果を普通科の生徒にも理解できるよう工夫を凝らしました。

本発表会は6月16日(水)に長与町民文化ホールで行われる県大会出場をかけた校内予選を兼ねており、審査を経て、後日出場する2班が決定されます。



<発表班>

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 不快感について | 7. ペットボトルロケットの飛距離予想 |
| 2. 廃電池の再利用について | 8. マツバクラゲの群体性ポリプの発見とその生活環について |
| 3. なぜお腹の音が鳴るのか | 9. ギネスを超えろ～紙飛行機～ |
| 4. バイオマス発電～うんちで発電できるのか～ | 10. アオコの抑制について |
| 5. ヨシノボリの体色変化について | 11. ヨロイイソギンチャクの吸着虎について |
| 6. 数学から学ぶ思考力～公理から幾何学を捉える～ | |

学年PTA・学級懇談会のご案内 (PTA総会は紙面決議とします)

日時 5月15日(土) 13:00～ 受付 13:30～ 学年PTA・学級懇談会
ご多用中とは存じますが、ご出席よろしくお願ひします。(詳しくは、後日配布するプリントでご確認をお願いします。)

5月の 主な 予定

| | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 6日(木) 防災避難訓練 | 21日(金) 尿検査(2次) |
| 10日(月) 1学期中間試験時間割発表 | 24日(月) 高総体前短縮授業(～6月3日(木)) |
| 13日(木) 生徒総会 | 25日(火) 3年内科検診 |
| 14日(金) 代休(5月15日(土)分) | 26日(水) 2年内科検診・教育実習開始 |
| 15日(土) 金曜の②③④授業、午後 学年PTA・学級懇談会 | 28日(金) 1年内科検診 |
| 17日(月)～19日(水) 1学期中間試験(17日1年は授業) | 31日(月) 代休(6月5日(土)分) |

各学年より

1学年主任 林 圭介 「入学おめでとう。ようこそ長崎北陽台へ。」

合格者オリエンテーションから始まり、入学式、導入期指導、歓迎遠足と、慌ただしく時間が過ぎましたが、高校生としての生活のリズムは整いつつあります。

導入期指導で、長崎北陽台について多くのことを知り、部活動編成を経て、ほとんどの人が部活動に参加するようになりました。新しく始まった3年間の高校生活における目標は見つかりましたか。各自が卒業時の理想的な自分を想像し、それに向けて努力を続けていくことが必要です。今、高校生活は始まったばかりですが、集会でも話したとおり、3年間は短く、あっという間です。日々、向上しようという意識のもと、生活してもらいたいと思います。停滞するという事は、いつまでも中学生と変わらないということになりますからね。

さて、5月初めの連休を経て、5/18・19には、初の定期試験である中間試験が実施されます。慣れないことはまだまだ多いですが、学習と部活動の両立を目指して、頑張っていきましょう。

2学年主任 下村かおり 「充実した1年にしよう」

2年生となり、新しい環境での生活が始まりました。気分をリセットしてまた頑張ろう！と思っている人も多いのではないのでしょうか。

4月には、毎年、入学式や入社式が日本各地で行われますが、ある企業の入社式で次のような内容がありました。『私は「変革のスピードは多くの人々が想像しているよりはるかに速い」とよく話していますが、皆さんが30年後に来ると思っていた未来は今後10年以内に訪れ、10年後に来ると思っていた未来は3年後に訪れるでしょう。』

世の中の流れは速いなあ・・・と漫然と感じてはいましたが、「え？そんなに速いの？」と、衝撃を受けました。きっとこれからも様々な分野で急速な変化が予想されます。それらの変化への対処法とはどのようなものになるのでしょうか。明確に回答することは大変困難ですが、まずはこれからの1年間に自分が何をできるかを考えていきましょう。授業や部活動、学校行事、総探の課題研究等で、自分の可能性を広げられるような取り組みを目指してはどうでしょうか。

3学年主任 守 慶直 「260日」

タイトルの日数を見てピンときていますか？41回生の皆さんが受験する大学入学共通テストまでの残り日数です。1月15日(土)・16日(日)の2日間で、理系は国語・英語・数学・化学・物理 or 生物・地歴の6科目、文系は国語・英語・数学・化学基礎・生物基礎・地歴・公民の7科目を受験します。残り日数を科目数で割ると、1科目にかけることのできる大体の日数が計算できますが、その全てを自分がやりたい学習に充てることのできるわけではありません。日々予習、授業、課題など、やるべきことがたくさんある中で、毎日少しずつ時間を作って自分に不足しているものを補う必要があるのです。そう考えると260日という時間は長いようで短いですね。安易に欠席することなく、先生の話すことを一言も聞き逃さないというくらいの気持ちで授業を受け、課題で分からない問題は自分で身につけるつもりで訂正するなど、一つひとつの取り組みの精度を上げましょう。

また、休日は学校を開放しています。4月は6日間ありましたが、半日は部活動を行い、残りの半日は学校で学習するというスタイルで頑張っている人も多く見受けられました。家では誘惑も多く集中することができないという人はぜひ積極的に利用してください。